



発行所 民館
 飯田市 竜丘公民館
 編集人 委員
 竜丘公民館 印刷所
 龍共印刷株式会社
 上郷町黒田 22-5353

人口 6,050 人
 男子 2,895 人
 女子 3,155 人
 世帯数 1,673 戸
 (6月末現在)

公民館事業計画決まる

一人ひとりが積極的参加を!!

昭和六十二年度竜丘公民館の事業計画は、去る五月七日の委員総会で決定され活発に活動が行なわれている。人生八十年時代の到来や就業形態の変化による余暇時間の増大は、私たちにあって着実な人生設計と、心豊かで潤いのある生き方が求められている。また一方公民館の果たす役割を再認識しなければならぬ。

「私にとっての公民館」
 「地域にとつての公民館」
 を今年度のテーマに掲げ、公民館と関ることによって、地区民一人ひとりに意識の変革が生まれる活動をすすめたい。

そのためには、公民館活動をすすめる中心は、住民の意志の反映である公民館運営審議会と専門委員会及び、地域に根を張る分館制度であるので、各種活動をすすめるにあたっては、これらの機能を重視する方向づけがされた。

【文化委員会】
 「私にとつての公民館」をテーマとして、地域に根ざした文化活動を進行するなかで、地域に結びついた文化の創造を図る。

地域の課題や生活課題を見出し、それらへ取り組み学習活動を行なう。

【事業】。人形劇カーニバル(六会場)。竜丘市民大。新春秋談会。健康セミナー。地域づくりセミナー。

【体育委員会】
 地域住民の心身の健康を保持するため、スポーツを通してコミュニケーションづくりを進めるため、各分館と

地域に根ざした文化活動を進行するなかで、地域に結びついた文化の創造を図る。

密接な連携を保ちながら、体育事業を企画・運営する。

【事業】。ソフトボール。ミニバレー。ゲートボール。盆常会野球。常会男女混合バレー。歩こう会。市民運動会。卓球大会。常会綱引き。歩け歩け運動。

【広報委員会】
 公民館の現状を伝達し、地域課題・生活課題などをとらえて問題提起の場として広く住民の声を載せていく。また、読みやすく楽しめる紙面づくりに努める。館報発行予定四回。

【民俗資料保存委員会】
 地域の有形・無形民俗資料を後世に伝えるための収集・保存活動を行なうとともに、それらの資料を用いて失われつつある民俗資料を地域に公開していく。

【事業】。民俗資料館の維持管理。収集品の整理と補修及び修理表の整理。石仏調査の整理と文化祭への展示。古墳保存に関すること

【学級・講座等】
 【青年学級】
 青年会の学習活動と連携して、計画実施する。

【家庭教育学級】
 若妻会の育成と学習活動。

【婦人学級】
 婦人団体の育成・援助とともに、計画し広く学級生を募集する。

【高齢者学級】
 老人学園の学習活動と連携して実施する。

【成人男子の学級】
 高齢化社会を迎えるなかで、男の自立と上手な生き方について学習。

鉛筆について

今回は、上川路の今村春雄さんをたずねてみました。

今村さんは、去る五月六日より行なわれた、第四十三回南信美術展において、油絵・水彩画・日本画・彫刻など、百五十八展の出展のなか、日本画を描いて、見事に、県知事賞(最高の賞)を受賞されました。

今村さんは、これまでも、県展へ六回、南信美術展へ三回出展されており、なかでも、昨年の県展では日本画の部で、県教育委員会賞を受賞されています。

今村さんの書いている日本画とは、岩絵の具(砂状の粉末の絵の具で、粒の大ききもいろいろある)をかわで溶いて、キャンバ

日展をめざして

上川路 今村 晴雄

ぶことより、中で絵を書くことが多かったそうです。また、中学生の時、塩沢孔六先生(駄科在住)に学び大潮展等へ出展する機会に恵まれたことが、絵を愛するきっかけとなったそうです。日本画を本格的に始めたのは、今から十年程前、東京より、Uターンして、

県展等へ出展する五十号サイズ(約一・一尺×一・一尺)の作品を完成させるには、構想から、二ヶ月半程かかるそうです。また、今村さんは、技術向上のために、南信美術会の仲間四人で作る日本画研究グループ「どくだみの会」に入り、日々、作品を持ち帰り研究



見事、県知事賞に輝く...

を重ねたり、上郷町在住で、日展会友である、林和緒先生に絵を見てもらったり、日夜努力されています。そんな、今村さんの今後の目標は、百号サイズ(約

【同和教育】
 同和教育を自らの心の問題として捉え、自分の生き方を考える。

【古墳を考える会】
 古墳に関心がある人を募り組織化し、具体的実践から古墳の保存、古墳を活かす方策を考える。

◎公民館を支える人たち
 公民館長 田中 興
 文化委員長 中田 照夫
 体育委員長 増田 正司
 広報委員長 小本 曾 俊
 民俗委員長 関島 毅
 科分館長 中平 明人
 長野原分館長 塩沢 稔
 時 又分館長 市村 芳雄
 桐 林分館長 今村 鉄夫
 上川路分館長 今村 弘夫
 (敬称略)

新任挨拶



支所長 山岸 一二三

四月一日の市の人事異動によりまして、竜丘支所長に就任いたしました。

早いもので、就任して三ヶ月が過ぎましたが、私もまったく初めての仕事ばかりで無我夢中で過ごしている状況であります。

今、この竜丘地区におきましては、皆さんご承知のとおり、ゴミ焼却場の建設これに関連する諸事業、また天竜川治水対策事業等々の大仕事を抱えており、この地区が将来に向けて大変貌しようとしています。

こういう中で、私も地区の皆さんと共に、これらの事業が一日も早く完成し、当地区が発展されるよう微力ながら努力してまいりたいと思っておりますので、今後一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、地区民皆様の健勝を祈念し、一言申し述べさせていただきます。



小学校長 萩原 儀久

ただき、就任のごあいさつといたします。

「竜丘」
 「こどもまほしほ」
 地域に根ざす学校(VS)を掲げて

国道一五号線沿いに展開される近代性、都市のもつ便利性ととも、竜丘には自然の豊かさ、伝統文化の根強さがしっかりと残っています。

新任校長として、本年度の学校運営の重点として、次の方針をたてました。

(一)竜丘教育の伝統の受けとめと継承
 ・学校に寄せる地域の皆様からの深い心の受けとめ。
 ・学校目標「知・徳・体」三位一体の吟味と具現。
 ・福祉教育協力校の実践。
 ・古切手・ベルマーク集め、郷土愛に燃えた教育研究と実践に学ぶ。

見えなくとも 歌と共に生きて

このたび、駄科の筒井房子さんの遺稿集、山鳩のこえが出版されました。筒井房子さんは、全盲ながらも、俳句や短歌を作り続けた女性です。大正六年に駄科で生まれ、その後根羽へ嫁ぎました。夫と、失明、そして夫との死別で、弟で実家の中平彦雄さん宅に身を寄せ、晩年までの十八年間を駄科寺下の地ですごしてこられました。

房子さんの作った俳句、短歌には過去の思い出や時折の思いが込められています。この言葉のとおり、歌を作る

歌を作り 友を待つ日のよろこびを 吾人生の 春にたとえん 何事も忘れじとせん 今日の吾 唯一つたすらに 歌があるのみ

ことが生きていく友であり力であったことと思えます。また、目の見えない房子さんの作る歌を口述筆記なされた家族の暖かい心が、作り続けてこられた理由でしょう。

この遺稿集を通して、本人のかねてからの希望であったという歌集出版をよろこぶと共に、房子さんを支えてこられた家族があったことを知っていただきたいと思えます。

竜丘図書館にも寄贈されました。一度お読み下さい。



自治会長 伊原 五郎

敬老の集い、文化祭への協力等

(二)教師の姿勢
 教師は子供が好き、子供も先生が好きという愛情、信頼の関係を大切に。
 (三)弾力に富み、小回りのきく学校運営を心がける。
 (四)子どもを前面に出し、自主的・自律的に動けるよう。一個に依じた段階的課題と、学級・児童会・友の会等での自治的活動の重視。
 (五)心の支え合いによる学習。どの子も存在感をもって学習にとりくめる学習の場面づくりと、助け合い学習ができるような手だてを工夫する。
 (六)実践活動を通してやり抜く喜びの育成
 ・黙働清掃
 ・お互いへの奉仕としての児童会活動・学級活動
 ・地域への奉仕
 ・やり抜く喜びの体得
 (七)地域に根ざす学校作り
 ・地域文化の掘りおこし(古墳文化、養蚕・近代産業・大正期自由画教育)
 ・安協・育成会・児童館・公民館との連絡を密に。
 ・PTA活動 部活動懇談会、友の会のより上げ。
 ・福祉教育協力校の実践
 ・古切手・ベルマーク集め、廃品回収、道路のあき缶拾い。

今や貿易摩擦で日本を始め世界中が揺れ動いており、国内では与野党のあくなき戦いを続けており、また竜丘では焼却場開連事業及び天竜川恒久治水対策の超大型プロジェクトを始め重要工事が山積の状態であります。

この大事な時期にあたり今年度各区分長の中で古老(？)、と言いつつ自治協議会長の職を汚すことになりました。副会長には長野原区長の今村さんに、会計には上川路区長の横井さん、総務部長には桐林区長の熊谷さんに、建設産業部長には駄科区長の下平さんをお願い致しました。

竜丘出身の市議会議員の御三方の強力なる御指導を賜わり、自治会全員和を以て一丸となり、力一杯頑張りたいと思っております。

地区民の皆様の絶大な御鞭撻と御支援をお願い致します。

「オーイ熊さん。どうだい稲の調子は？」「やあ八つつあん。そんなことより、今年は一反歩も米を減反したよ。この分じゃ、来年は米屋から米を買わなくちゃならんに。」「それに熊さん、米も安くなるんじや、曾孫にオモチャの一つも買ってやれんに。」「本当じゃのう。ウチの息子が行つてる会社も円高不況とやらで、ボーナスが減るつちゅうでエライこつちやなあ。」「そうそう、長野原の建物の跡に、うどん屋が来るって言うたがどうなつてるんかのう。」「それが八つつあん。あそこゲートボールやちよつたヨネさんに聞いたら、だめになつちやうに。」「それなら熊さん。ほれ桐林に興亜電工が来るつちゅう、だだっ広い所ができたに。」「いんね、あれも工場がいつできるか解らなくて息子が言つたに。」「何とか早く沢山の人が安心して働ける工場を作つてくれんかのう。」「なあ八つつあん、オレいづもあのだだっ広い所を眺めて思つてるんだが、あそこゲートボールやらせてくれんかのう。」「うん、そりゃいいよ。それに孫も野球やつとるが、小学校しかグラウンドがないので思つ存分できんて言うてるし、あそこをやらしてやりや、こんないい事ないよのう。」「そうだよ、工場ができるまで使わせねくれんよのう。」「熊さん、思ったつたら何とかで、息子や孫やヨネさんを誘つて、早速公民館の理事さんにでもかけあつか。」「待つてや、ワシも手土産にウチで穫れたネギ持ちに行つてくるから。」「そうじゃ、そうじゃ、それがいいや熊さん。」

健やかに育て丘の子

完成

竜丘



青少年活動の拠点完成

桐林の旧竜丘図書館跡地に建設工事が進められて来た「竜丘青少年センター」が完成し、三月十九日に落成式と祝賀会が開催されました。同センターは、一階が青年センターと柔道場、二階が児童センターになり、県下でも初めての複合施設となりました。

竜丘青少年センターは、約九千二百万円の事業費をかけ、旧竜丘図書館跡地に昨年十月一日に着工、今年三月十日に完成しました。建設にあたり、自治会始め社協・育成会などが先進地視察を行ない、国の補助を受け地元の要望に添ったものが完成しました。

一、三五八平米の敷地に鉄骨二階建て六〇一平米の建物で、一階は青少年センターと柔道場、柔道場は八

十四畳の広さをもっています。また、青少年センターは研修室・会議室など青少年のための施設となっており、また、二階の児童センターは小学校の側から直接二階へ入れる構造になっています。

定員は五十名で、学校から帰宅しても共働きの父母が留守がちな家庭の児童などを登録児童とし、豊かな情操・健全な遊び・健康増進の場として位置づける。

なお、一般の来館児童に対しても、同じ目的で解放することになっています。

児童センターには職員として、館長一名、厚生員二名、体育指導員一名を置き、うち厚生員二名は常勤となる。

この四月一日よりオープンし、祝祭日・年末年始を除き毎日午後一時から五時まで開館されている。

地区民の要望の強かった児童センターには、本年度小学一年生から六年生まで五十四名の児童が登録されており、日曜・祭日を除く毎日一時から六時(夏期)まで、元気な声が響きわたっています。授業が終わると三々五々ここに集まり、宿題を終え予習復習を済ませます。四時にはおやつ時間があり、集会所でみんなワイワイガヤガヤ。食べ終わった者から体育室でケリベースやトランポリンなどで遊んだり、図書室で本を読んだり折り紙をしたりして六時近くになると、上級生が中心になり後片付けをして帰ります。児童の指導には二名の厚生員の方が当たっていますが、毎日四十名以上が集まってくるため、てんやわんやだそうです。他にも週二回、体育指導員の方が来て遊びやゲームを教えてください。



宿題したら遊ぼうよ

皆んなで仲良く

《児童センター》

の評判も上々の様です。共働きの家庭が増え、ともすると放任されがちな子供達にとって、児童センターでの共同生活から学ぶ事は多く、子供達の健やかな成長を期待します。

若人よ、全員集合

《竜丘青年会》

三月、青年会の新しい活動の拠点「竜丘青少年センター」が完成し、仲間のためり場として一階の研修室では、毎日多くの青年が集まり夜遅くまで話し語り合い、活動の基盤となつていきます。また、ここには「飯田市連合青年団」の本部も置かれ、飯田市全体の青年団活動の中心にもなっています。



いつでも集まり語り合う仲間

私の提言

今回から、各種団体長にお願いしました。

……

竜丘地区では、消防団の無火災であってほしいという願いにもかかわらず、昨年七件、今年に入ってから三件と、多くの火災が発生し、かつては、一、二六七日無火災と言った記録を作った当該地区が、一転し、火災多発地区となつてしまいました。

「消えたかな!」 気になるあの火もう一度

分団長 井口正和



全国的に見ても、竜丘地区の戸数から言いますと、年間三件というのが、平均的な火災の発生件数という事なので、非常に多くの火災

が飯田市の中では一番多い地区という事で、家の密集地、アパートなど多くなり、一旦火災が発生すれば、自分の家だけではなく、隣近所への延焼という危険な状態も考えられます。もう一度火災のおそろしさ・こわ

さ再確認し、火の取り扱いには充分すぎるほどの注意を払ってほしいという、私達消防団も自分達の職業を持ちながら、一旦火災が発生した場合に、その被害を最少限に抑止するために、日頃から防水訓練、

操法訓練、非常召集訓練等を行なうと共に、予防消防を第一と考え、地区内広報、予防査察、防火チラシの配布、防火のつどの開催などをし、竜丘地区から、一件の火災も発生させない様に努めています。思うにま

たいものです。とにかく、地区住民一人一人が、防火思想の徹底と高揚をはかり、自分の家からはずっとに火災を出さないという、自覚をもってもらいたいと思います。

畳に汗をしみ込ませ

《竜丘柔道クラブ》

竜丘柔道クラブは五十二年に発足し、現在登録して者十一名で「人を思いやれるやさしさ、正しい事を主張できる人間づくり」を方針としています。

同クラブは飯伊柔道連盟に加盟しており、毎週土曜日の五時半から七時半までの二時間、この三月に完成した青少年センター一階の常設柔道場で練習を行っています。



新しい道場で、がんばるクラブ員

今年度は柔道場の完成に併せ、十七名の新人クラブ員を迎え練習にも熱が入ります。昨年までは小学校の体育館を使って練習していたため、畳の準備と片付けで練習時間を大きくさかされてしまうなどの他、試合に向けての強化練習などでも体育館を自由に使用せず、不自由を強いられて来ました。

クラブ員の子供達からは畳の準備と片付けが無くなってうれしいという声が多く聞かれた他、練習中クラブ以外の人が体育館やグラウンドを使っていると気が散ってしまうのがなかったが、

熱気あふれる 好プレー 珍プレー

竜丘青年会では四月より頼もしい新入会員が入り、現在八会長・林厚さん以下登録会員約四十名。会員四十名というのは伊賀良と並んで多く、また、活動の面からも飯田市全体から「竜丘を目指せ!! 追い越せ!!」と、今一番注目・期待されているということだ。

討論し、苦勞し、汗を流し、辛いこともあるけれど、「ヤッター!!」という多くの仲間との喜び合い、感激

は、何物にも代えられない忘れられないもの。自分自身を見直せられる場でもあり、成長できるところ。地区の方々の理解が得られ、このような立派な仲間でも集まり語り合える仲間を作ってもらったことができたので、尚一層、有意義に利用し、「飯田市をしっかりとつなぐ竜丘青年会にしたい」と連日連夜ががんばっています。

——青年集まれ!!——

も無く響き渡り、参加選手の隠れた才能が発揮されるなど、公民館のスポーツ大会ならではの場面が展開されました。しかしその一方で、選手の固定化や、ルールの不勉強等今後の問題点が残されました。

優勝は次の通りです。

ソフトボール男子 桐林 時又
ソフトボール女子 長野原 時又
ゲートボール男子 長野原 時又
ゲートボール女子 長野原 時又
ミニソフトバレー 時又



初めてのミニソフトバレー大会

それも無くなったなど常設柔道場の完成を心から喜んでいました。

発足以来十年を迎えた同クラブも、延べ八百六十名という子供達が畳に汗の跡